

西伊豆健育会病院

お元気ですか

2021年度

02

No.82



講演会の開催

新型コロナが私たちに教えてくれたこと
～クラスター対応経験を通して～



Contents



- ・講演会の開催 講師：吉田英人医師
- ・講演会開催にあたり(感染対策)
- ・静岡県看護協会賀茂地区支部 災害看護地区研修
講師：小川看護部長 / 内科・竹内医師
- ・健康管理室より 特定健診のご案内
- ・栄養科より「足りてますか？食物繊維！」
- ・健育会グループ 関連施設

講演会の開催

新型コロナが 私たちに 教えてくれたこと

～クラスター対応経験を通して～

西伊豆健育会病院 内科

吉田 英人

静岡県ふじのくに感染症専門医協働チーム (FICT)

日本救急医学会救急科専門医

日本プライマリケア認定医・指導医

2021年11月19日(金)

18:00開催

松崎町農村環境改善センター
多目的ホール



西伊豆健育会病院
内科医長 吉田英人

平成24年7月着任
(勤続10年)

- ・静岡県ふじのくに感染症専門医協働チーム(FICT)
- ・日本救急医学会救急科専門医
- ・日本プライマリケア認定医・指導医

今回の講演会は、新型コロナウイルス集団感染対策が必要と思われる医療・福祉関係の方にご案内させて頂きました。近隣の病院・介護施設・行政・居宅事業所・消防署・保健所から、合計27施設、89名が参加しました。

当地域で発生した新型コロナウイルスのクラスター発生から終息までの経験を、『指揮系統』『感染状況』『医療提供・健康管理』『感染制御』『人的資源』『物的資源』『搬送・戻り』『環境整備』『職員ケア』『その他』10項目に分けて説明しました。

地域の医療体制がひっ迫している状況に陥ると、介護施設内で新型コロナウイルスの集団感染が発生すると、施設内で継続して医療・看護・介護を行うことが求められます。そのためには関係機関と連携し円滑な協力体制を構築することが重要です。また、施設職員への基本的な感染対策教育や、地域からの支援を促す働きかけも必要になります。

当地域で発生したクラスター事例から、初動対応体制の整備を、地域全体で共有することで、平時から必要な準備や発生時の対応、PPE(個人用防護具)の着脱方法の学びなど、それぞれの現場で感染防止に役立てて頂きたいと思います。



【参加者の感想の一部を紹介】

- ・講演会を聞くまで、クラスターとこれほど戦っていることを知りませんでした。戦っている事を報道することで、誹謗中傷は無くなるのではないかと思います。
- ・経験による講演会は、とても参考になりました。医療資源の乏しい地域だが、今回の経験は財産として賀茂地区にはとても大きいと思います。

- ・人が助け合う事が重要であることが改めて分かりました。日頃から助け合いの気持ちを持ち続けていきたいです。
- ・誰が感染してもおかしくない状況で、自分ができる事を考え行動していく。現状で何が必要か足りない物は何かを把握していきます。
- ・ゾーニングやPPE(個人用防護具)の着用など、日常的なスタッフの教育が必要と感じました。

講演会開催にあたり

最近では、人が集まる事を避け、インターネットを使つての会議や講演会が行われています。今回の講演会についても様々な意見があり、どう開催するか検討しました。新型コロナウイルスの新規感染者数も減少しており、厚生労働省が掲げた「3つの密」密閉・密集・密接を念頭に会場準備を行いました。



◆座席の距離を十分取りました

◆受付前に手指消毒・検温
次に受付に流れるよう机を設置



◆受付では、各自が名簿に体温を記載



◆参加者全員へ感染防止対策を周知・徹底

ご来場の皆さまへお願い
安全な講演会をするために！

- 1) 講演会施設内では
マスクを着用しましょう。
- 2) 講演会会場の出入りは必ず
手指消毒をしましょう。
- 3) トイレに使用前後も必ず
手指消毒をしましょう。
- 4) **大きな声での会話**は
控えましょう。

皆様のご協力とご理解をお願い致します。
西伊豆健育会病院



◆会場の出入口・トイレ前に手指消毒設置
案内表示のポスター設置

◆質疑応答のマイクは、2本を
ローテーションする事とし、1人が使うごと、アルコール消毒を実施

この講演会をきっかけに、行政・医療・介護が共に新型コロナウイルスの感染に対する意識・知識の向上につながり、地域で感染者の発生やクラスターに対応する体制が整っていく事を願っています。

静岡県看護協会賀茂地区支部 災害看護地区研修

この研修では、災害発災時に、地域の救護所で適切なトリアージや、限られた資材による応急処置が提供できるよう、災害支援ナースとして必要な基礎知識・技術を習得する事を目的としています。11月20日の朝から夕方まで1日かけての研修です。

午前の部

当院の小川看護部長が講師として「災害看護について」講義を行い、「災害時の応急救護・搬送法」実習を指導しました。



東日本大震災の発生時、当院と同じ健育会グループの石巻港湾病院が津波に襲われ、ライフラインが寸断された中で、かろうじて病院機能を継続し入院患者さんの看護を行っていました。当院からも数名の看護師が支援に向かいました。小川看護部長もその一人です。そこでの実際の経験から学んだ事をリアルなエピソードを交えて講義しました。

実習では、日常の生活の中にある物を持ち寄り、キズや骨折、頭部外傷などの応急処置を、グループで考えました。ラップや雑誌、スーパーの袋やタオルなどを使い、四苦八苦しながら処置を行い、グループごとに応急処置の内容を発表し、それぞれ違ったアイデアがたくさんあり、全体で共有しました。



災害現場では、日常にある物で処置などの対応にあたらなければならない可能性が高く、看護師の基本的な知識を最大限活用していく必要があります。

午後の部

午後の部では、当院の内科竹内医師が「災害時医療とトリアージについて」の講義と「トリアージの実践」を指導しました。



救急医療と災害医療では、傷病者に対する医療であることは同じですが、医療の質や考え方が異なります。救急医療では、最大限の資源を少数の各個人に提供できますが、災害医療では、限られた資源を最大多数に提供しなければなりません。有効に資源を使い一人でも多くの命を救うための医療です。

そこで、治療の優先度や搬送順位を決めるのがトリアージです。トリアージ後から治療が始まります。そして、看護師が関わる可能性が高いのがトリアージエリアです。トリアージでは、患者さんの状態によって、緑・黄・赤・黒の色分けを行いトリアージタグに情報を書き患者さんに付けます。

【トリアージ訓練】

今回の訓練は、受講生が患者役とトリアージ役を交代しながら行いました。

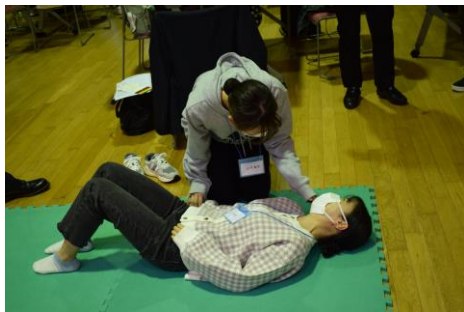
トリアージ役には患者情報は伝えず、患者役には「タグの色」だけ告げて、トリアージ開始です。患者役はタグの色に合うよう、症状を表現しなければいけません。

「歩行困難」「呼吸停止」「頻呼吸」など、それぞれ工夫しながら患者役を演じます。トリアージ役はその症状に応じて、速やかにトリアージの色を判断します。患者役も演じることで、タグの色とその症状を身をもって理解することができ、繰り返し行ううちにトリアージの判断スピードが早くなっていくのが伺えました。

災害看護とは、『災害に関する独自の知識や技術を体系的かつ柔軟に用いるとともに他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康活動への被害を極力少なくするための活動』

災害時、看護師にはトリアージや救護所での活動など多岐にわたり対応を求められます。特に、トリアージは日頃からの訓練が重要であり、繰り返し行い理解しておくことが実践に役立ちます。

表		トリアージ・タッグ		平成16年度作成	
氏名 (Name)		年齢 (Age)		性別 (Sex)	
住所 (Address)		電話 (Phone)		特記事項	
トリアージ実施員名・時刻		トリアージ実施者氏名			
月 日 AM PM 時 分					
救急機関名		救急医療機関名			
トリアージ実施場所		トリアージ区分 (色)		[黄] [赤] [青] [紫]	
		0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		[黄] [赤] [青] [紫]	
トリアージ実施機関		医師 救急士 その他 他			
症状・傷病名					
特記事項					



～西伊豆町民の皆さま～

国民健康保険・後期高齢者医療保険に加入されている方へ

無料で受けられる

特定健診のご案内

2/28まで
です！

今年度は、新型コロナワクチン接種の集団接種実施等により、特定健診(集団検診)を西伊豆町では完全予約制で実施いたしました。例年よりも実施日数が減少し受診する機会が少なくなったため、西伊豆町役場の依頼により、個別健診を実施することになりました。当院では、1日2回の全館の清掃、消毒を行っております。安心して健診を受けて頂けます。

医療機関	西伊豆健育会病院
対象者	①20～39歳の国民健康保険加入者の方 ②40～74歳の国民健康保険加入者の方 ③後期高齢者医療保険加入の方 ④40歳以上の生活保護受給者の方で協会けんぽ等健康保険に加入していない方 ※今年度、特定健診を受診されていない方
健診期間	令和3年12月1日～令和4年2月28日の平日
予約	・電話予約 0558-52-2366(代) ・来院予約 健診希望日の10日前までに予約 ※電話予約時間：月・火・木・金曜日 15時から17時
自己負担金	無料
予約時に 伝えて頂く事	1) ①「国民健康保険若年者健診」を受けたい ②「特定健診」を受けたい ③「後期高齢者健康診査」を受けたい ④「健康診査」を受けたい *生活保護受給者であること 2) 受診希望日時 3) 氏名・生年月日・住所・電話番号

健幸マイレージ

20P

プレゼント！

【特定健診に関するお問い合わせ】

西伊豆町役場 健康福祉課 医療保険係 ☎52-1116

栄養科より

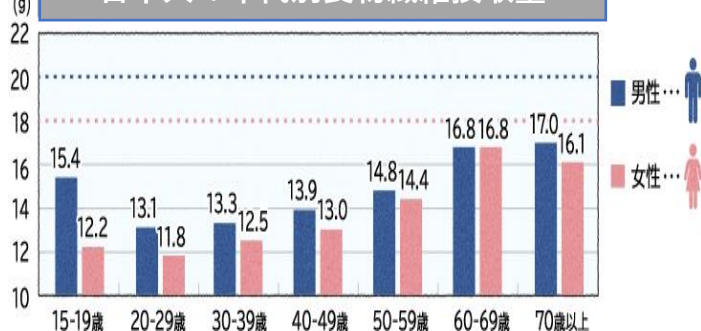
足りてますか？食物繊維！

食物繊維は生活習慣病に効果のあるものとして食事摂取基準でも目標量として成人男性で1日21g以上、成人女性で1日18g以上となっています。

国民栄養調査の結果では日本人の食物繊維摂取量は平均1日15gです。

通常の食事での摂取過剰の心配はありませんので意識的に摂取する必要があります。

日本人の年代別食物繊維摂取量



食物繊維を上手に摂取しよう

栄養1日3食バランスよく

基本的には「1日3食いろいろな食品をバランスよく」摂りましょう。

野菜はもちろんですが、海藻類、きのこ類、豆類等も積極的にとりいれましょう。

脂質と一緒に摂る

脂質の1つであるコレステロールは肉や卵等に多く含まれます。

食物繊維は油を体内に吸収しやすくし、余分な油を便として体外に排泄しやすくします。

食物繊維を摂る事のメリット！

- ①水分を吸ってお腹の中で膨れるので満腹感を感じる。
- ②血糖の上昇を穏やかにし脂肪をつきにくくする。
- ③ゆっくりよく噛んで食べる事で、食べすぎ防止になる。
- ④腸内の善玉菌の餌になり、お腹の調子を整える。

お手軽レシピ

●ひじき入り おからナゲット●

材料(2人分)

鶏むね肉・・・1/2枚(100g)
ひじきだし煮・・・50g
おからパウダー・・・20g
水・・・80ml

- A おろしにんにく・・・小さじ1/2
おろししょうが・・・小さじ1/2
酒・醤油・・・各大さじ1/2
とき卵・・・1個分
- B 小麦粉・・・大さじ2
片栗粉・・・大さじ2

揚げ油
レモンのくし切り



1人分…311Kcal
食塩相当量…1.0g
食物繊維…6.9g



「ひじき」と
「おから」で
食物繊維を
しっかり確保

～作り方～

- ①おからパウダーは分量の水を加えて10分ほどおきふやかす（生おからにもどす）
- ②ボールに鶏肉とAを合わせ、5分ほどおいて味をなじませる。ひじきとおからを加えて混ぜBに加えて更に混ぜる。
- ③フライパンに油を2cm高さまで注いで中火で170℃に熱し、②をスプーンで一口にすくって落とし入れるきつね色になるまで5分ほど揚げる。
- ④器に盛り、レモンを添える。

健育会グループ関連施設

熱川温泉病院



お問い合わせ：☎0557-23-0843

自然環境と人間性の融合。質の高いリハビリテーションと確かな医療を提供する新時代のリゾート・リハビリテーション・ホスピタル。

豊かな自然に恵まれたリゾート環境で、良質な温泉を活かした施設と充実したアメニティを備えリハビリテーションを中心とした新しい考え方の病院です。最高の環境でじっくりとリハビリテーションに専念したいというニーズに応える為、あらゆる職種が協同し徹底したチーム医療を実践しています。

土肥クリニック



お問い合わせ：☎0558-99-1234

地域に愛され、信頼されるクリニックを目指します。専門外来として【泌尿器科】当院の吉田正院長及び【整形外科】西伊豆健育会病院の仲田和正院長による外来診療を実施しています。また、内科外来においても西伊豆健育会病院内科医師による診療を行っており、地域医療連携により質の高い医療を提供できるよう努めています。訪問診療も随時実施しており、西伊豆健育会病院等の連携施設と情報通信機器を活用した診療情報の共有等を行うことにより、質の高い医療連携サービスを提供できるよう努めています。近年増加の著しい慢性腎不全患者様のために、近隣地域の方の維持透析を随時受け入れております。

介護老人保健施設 しおさい

入所のご相談・お問い合わせ：☎0558-52-3000(入所担当まで)



地域の要介護高齢者の一日も早い家庭復帰と社会復帰を支援する施設です。在宅復帰へ向けたネットワークを構築し、最適の療養環境で最善のケア・リハビリテーションを提供。利用者の方々が心身ともにリフレッシュでき、楽しく有意義な生活が送れるようご支援します。

施設内行事も充実しており、毎月の「お誕生会」に、季節の行事も毎月企画しています。四季折々の行事を行うことで利用者さまと共に季節を感じることができます。

ゆうあい訪問看護ステーション

お問い合わせ：☎0558-52-5111

訪問看護は、病気や障害をお持ちの方や高齢者が住み慣れた家で、安心して療養生活を送れるように支援する看護サービスです。看護行為は主治医の治療方針に沿って行われます。また、介護されているご家族に、さまざまな面からアドバイスや支援もいたしますので、安心してご利用いただいています。

居宅介護支援（ゆうあい訪問看護ステーション）

お問い合わせ：☎0558-52-0555

介護に関わるご相談、介護認定申請手続きの代行、ケアプランの作成、介護サービスを提供する事業所との連絡調整、施設の紹介等、介護保険に関わる全てを承ります。介護の必要な方やご家族のご要望を尊重し心身の状況や環境等を十分考慮して可能な限り、望まれる日常生活を営むことができますよう適正な居宅介護支援を提供いたします。お気軽にご相談下さい。

お元気ですか 第82号 令和3年11月 発行

発行 医療法人社団健育会 西伊豆健育会病院 医療連携室
〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科138-2

TEL 0558-52-2626(医療連携室直通)

ホームページ <http://www.nishiizu.gr.jp/index2.html>

ブログ <http://ameblo.jp/kenikukai-nishiizu/>

